

日頃のお世話、お疲れ様です🌸

牧之原市主任ケアマネジャーが おむつのギモン をシリーズでお届け 第3弾！！

第3弾は【オムツの当て方、交換の仕方について】です。

普通のパンツ+軽失禁パッド



1, 下着の股の部分に、尿取りパッドの中央部分が当たるように、あらかじめ下着に貼ってからご使用下さい。何回かご使用になるうちに、貼る位置を前後にずらしてみて、ちょうど良い位置を見つけてください。

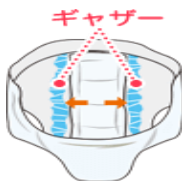
パンツタイプ

(紙パンツ、リハビリパンツ)

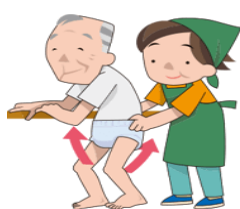


ポイント！

尿取りパッドが紙パンツのギャザーの上にのらないように、ギャザーの内側に収めて下さい。



1, ご本人には便座や椅子に腰かけてもらいます。介助者は交換する紙パンツの中に手をいれて前後に2～3回伸ばし、ギャザーをしっかりと立たせます。左右の足をそれぞれ紙パンツに通し、膝の辺りまで上げます。



2, ご本人に手すりなどにつかまって立ち上がってもらい、介助する方は後ろに立ち、紙パンツをウエストまで引きあげます。

最後に、パンツ用パッドがずれていないか、きちんとギャザーの中に入っているか、すそをめくって確認します。

*ご本人の立位が困難な場合には、介助者の足でご本人の身体を支えながら行ってください。

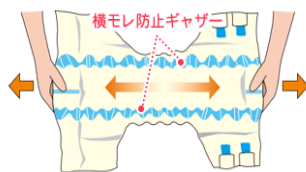
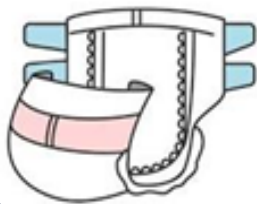


＜汚れたパンツを脱ぐ時＞

交換の時は下着のように下げるか、横のつなぎ目を下から引っぱると破れ、脱ぐ事ができます。

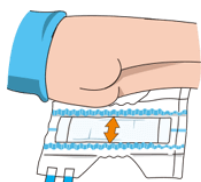
大便の時は下着のように下げると、足に便が付着する恐れがありますので、横のつなぎ目を破って脱ぐ事をおすすめします。

テープタイプ



ポイント！

テープの前後を持ち矢印の方向に2～3回やさしく伸ばします。これにより左右の横モレ防止ギャザーが立ち上がり、より体にフィットさせることができます。



1、テープタイプにパッドをセットします。背中や脚まわりのギャザーの中にパッドを入れてください。

ポイント！

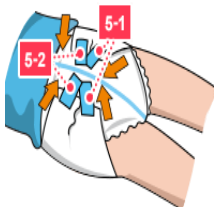
パッドはギャザーの上に重ならないように内側に収めてください。



2、体をおむつの上にもどし、尿とりパッド端が折れたり、ギャザーを外側に折らないようにして下さい。

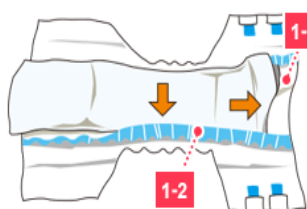


3、股ぐりにギャザーをフィットさせながら、おむつをしっかり引き上げます。上から軽く押さえつけて固定します。このとき、尿とりパッドがずれないように注意して下さい。



4、おむつを骨盤の形に合わせるように、また、脚のまわりにすきまができないように注意しながら、下のテープ（図5-1）を斜め上側に向かって貼り、次に上のテープ（図5-2）を斜め下側に向かって貼ります。

最後に、おむつの中心と体の中心と体の中心があっているか確認してください。テープタイプはおなかとおむつの間に指1～2本入るくらいにあてるのが目安です。



＜大き目のパッドをつける場合のコツ＞

テープタイプの背モレ防止ポケット（図1-1）と、横モレ防止ギャザー（図1-2）の上に重ならないように収めます。ギャザーの中に、尿とりパッドをしっかり収めることで、脚まわりからの伝いモレを防ぎます。



テープタイプのつけ方チェックポイント！！

- 1、テープ用のパッドがきちんとテープ止めのギャザーに入っていますか？
- 2、脚まわりにギャザーがフィットしていますか？
- 3、テープのクロス止めはできていますか？

牧之原市の主任介護支援専門員 15名で活動している連絡会の中で 介護のギモン として今回は「おむつ」を取り上げてみました。今後、シリーズ化を予定していますので、楽しみに👏